2024年度 卒業生調査 卒業年度別の集計結果

京都ノートルダム女子大学 2025年7月

【2024年度卒業生調査実施概要】

1. 対象者: 2008年度、2013年度、2018年度 卒業生

2. 実施方法: ・回答収集はWebで実施

・同窓会で管理している卒業生名簿の住所にURLを記載したはがきを

送付して実施する旨を周知

3. 調査時期: 2024年12月 ~ 2025年1月

4. 主要調査項目:

入学形態、受講態度、知識・能力の獲得状況、留学経験 大学教育、大学生活に対する満足度、卒業後の本学とのつながり 初職の就業形態・勤務先等、現職の就業形態・勤務先等 キャリアパスに対する満足度、海外での勤務経験、英語運用能力のレベル 社会経験から学生時代に身につけるべきと考える能力、卒業学科 学生時代に経験したことで、社会人になって役に立ったと思うこと など

本集計結果には、上記「主要調査項目」より、以下の項目を抜粋して掲載しています。

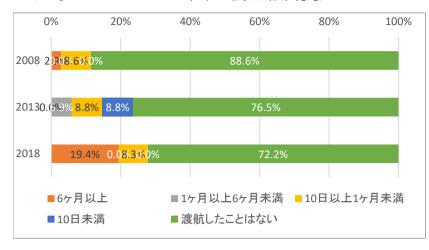
- ・留学経験(Q1)、大学教育、大学生活に対する満足度(Q2-Q3)
- ・卒業後の本学とのつながり(Q4)
- ・初職の就職先について(Q5-Q8)
- ・社会経験から学生時代に身につけるべきと考える能力(Q9)
- ・学生時代に経験したことで、社会人になって役に立ったと思うこと(Q10)

なお、調査項目は、「大学IRコンソーシアム」が作成した調査項目および本学が作成した 調査項目を採用しています。

5. 回収状況:

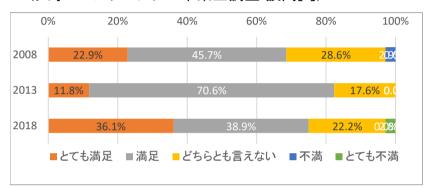
卒業年度	学科	配付数	回収数	回収率
	人間文化学部英語英文学科	61	6	9.8%
	人間文化学部人間文化学科	26	1	3.8%
2008	人間文化学部生活福祉文化学科	62	10	16.1%
年度	人間文化学部生涯発達心理学科 心理学部心理学科	98	18	18.4%
	卒業年度合計	247	35	14.2%
	人間文化学部英語英文学科	39	4	10.3%
	人間文化学部人間文化学科	30	5	16.7%
2013	生活福祉文化学部生活福祉文化学科	39	12	30.8%
年度	13 生活福祉文化学部生活福祉文化学科 39 支 心理学部心理学科 71	13	18.3%	
	無回答	-	1	-
	卒業年度合計	179	35	19.6%
	人間文化学部英語英文学科	47	9	19.1%
0010	人間文化学部人間文化学科	24	3	12.5%
2018 年度	生活福祉文化学部生活福祉文化学科	51	10	19.6%
一一人	心理学部心理学科	73	14	19.2%
	卒業年度合計	195	36	18.5%
	調査対象者合計	621	106	17.1%

Q1. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を1つ選択してください。 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[5])



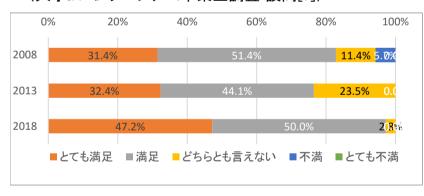
卒業年度	件数	6ヶ月以上	6ヶ月未満	1ヶ月未満	10日未満	とはない 変航したこ
2008	35	2.9%	0.0%	8.6%	0.0%	88.6%
2013	34	0.0%	5.9%	8.8%	8.8%	76.5%
2018	36	19.4%	0.0%	8.3%	0.0%	72.2%

Q2. 本学の教育・研究に満足していましたか。 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[6])



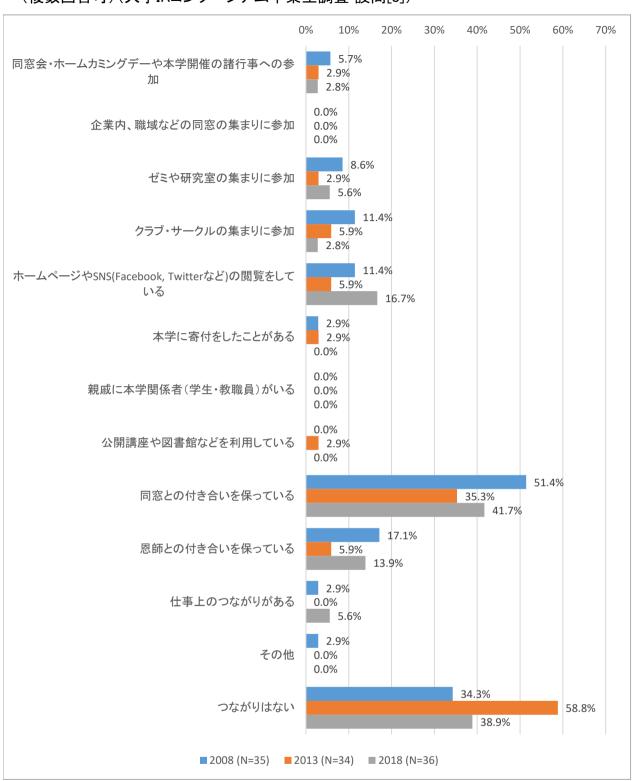
卒業年度	件数	とても満足	満足	言えない	不満	とても不満
2008	35	22.9%	45.7%	28.6%	2.9%	0.0%
2013	34	11.8%	70.6%	17.6%	0.0%	0.0%
2018	36	36.1%	38.9%	22.2%	0.0%	2.8%

Q3. 大学時代の生活全般に満足していましたか。 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[7])

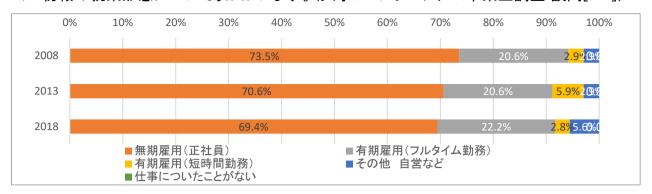


卒業年度	件数	とても満足	満足	言えない	不満	とても不満
2008	35	31.4%	51.4%	11.4%	5.7%	0.0%
2013	34	32.4%	44.1%	23.5%	0.0%	0.0%
2018	36	47.2%	50.0%	2.8%	0.0%	0.0%

Q4. 卒業後、本学とどのようなつながりがありますか。あてはまるものすべてを選択してください。 (複数回答可)(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[8])

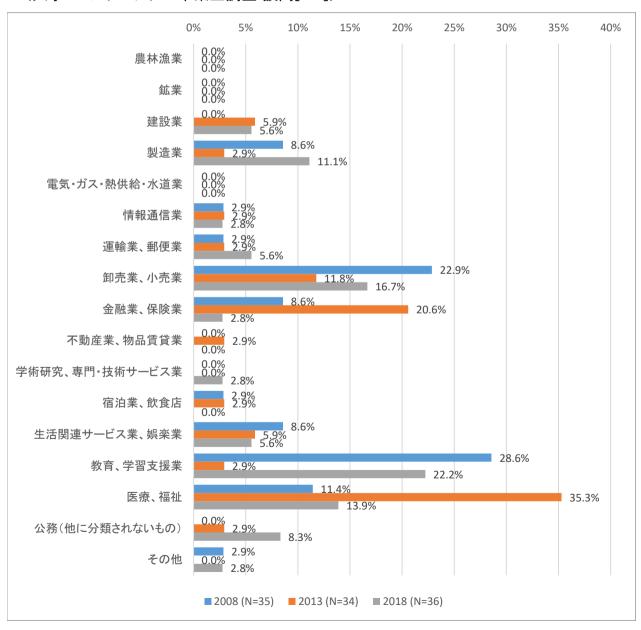


Q5. 初職の就業形態についてうかがいます。(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[9-1])

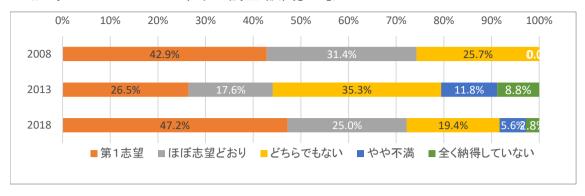


卒業年度	件数	無期雇用(正社員)	有期雇用 (フルタイム 勤務)	有期雇用 (短時間勤 務)	その他 自 営など	仕事につい たことがな い
2008	34	73.5%	20.6%	2.9%	2.9%	0.0%
2013	34	70.6%	20.6%	5.9%	2.9%	0.0%
2018	36	69.4%	22.2%	2.8%	5.6%	0.0%

Q6. 初職の勤務先の業種についてうかがいます。 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[9-2])



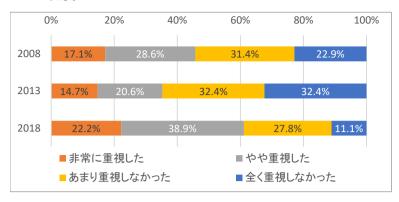
Q7. 初職の就職先については、志望どおりでしたか。 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[9-3])



卒業年度	件数	第1志望	ほぼ志望 どおり	どちらでも ない	やや不満	全く納得し ていない
2008	35	42.9%	31.4%	25.7%	0.0%	0.0%
2013	34	26.5%	17.6%	35.3%	11.8%	8.8%
2018	36	47.2%	25.0%	19.4%	5.6%	2.8%

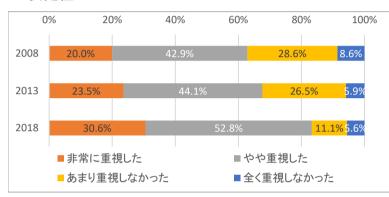
Q8. 初職の就職先の選択に際し、以下の項目をどの程度重視しましたか。 (大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[9-4])

A. 知名度



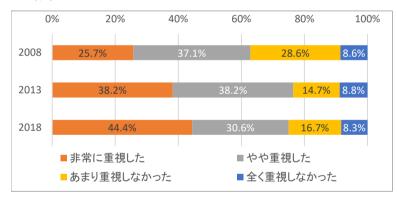
卒業年度	件数	非常に重担	や や を 重 視-	しなかった	なかった
年 度 2008	35	視	l	た視 31.4%	7: L 22.9%
2013	34	14.7%	20.6%	32.4%	32.4%
2018	36	22.2%	38.9%	27.8%	11.1%

B. 安定性



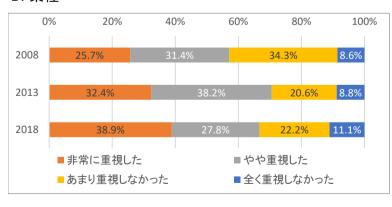
卒業年度	件数	非常に重視	やや重視し	しなかった	全く重視し
2008	35	20.0%	42.9%	28.6%	8.6%
2013	34	23.5%	44.1%	26.5%	5.9%
2018	36	30.6%	52.8%	11.1%	5.6%

C. 職種



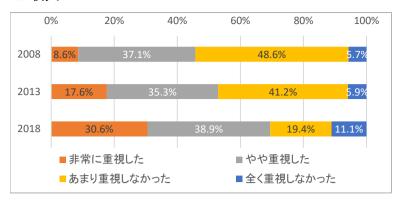
卒業年度	件数	非常に重視	やや重視し	しなかった	全く重視し
2008	35	25.7%	37.1%	28.6%	8.6%
2013	34	38.2%	38.2%	14.7%	8.8%
2018	36	44.4%	30.6%	16.7%	8.3%

D. 業種



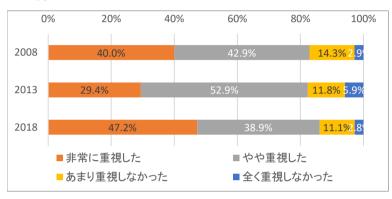
卒業年度	件数	非常に重視	やや を 重視し	しなかった	全く重視し
2008	35	25.7%	31.4%	34.3%	8.6%
2013	34	32.4%	38.2%	20.6%	8.8%
2018	36	38.9%	27.8%	22.2%	11.1%

E. 収入



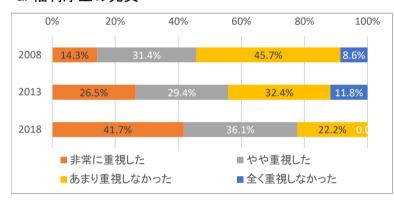
卒業年度	件数	非常に重視	やや重視し	しなかった	全く重視し
2008	35	8.6%	37.1%	48.6%	5.7%
2013	34	17.6%	35.3%	41.2%	5.9%
2018	36	30.6%	38.9%	19.4%	11.1%

F. 勤務地



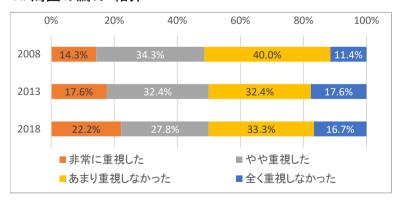
卒業年度	件数	非常に重視	やや重視し	しなかった	全く重視し
2008	35	40.0%	42.9%	14.3%	2.9%
2013	34	29.4%	52.9%	11.8%	5.9%
2018	36	47.2%	38.9%	11.1%	2.8%

G. 福利厚生の充実



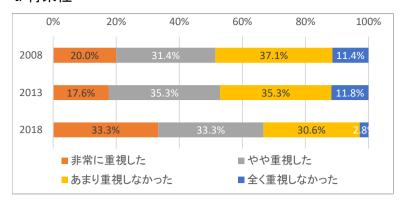
卒業年度	件数	非常に重視	やや重視し	しなかった	全く重視し
2008	35	14.3%	31.4%	45.7%	8.6%
2013	34	26.5%	29.4%	32.4%	11.8%
2018	36	41.7%	36.1%	22.2%	0.0%

H. 周囲の薦め・紹介



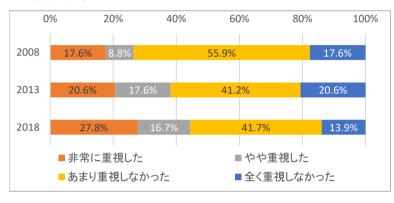
卒 業 年 度	件数	非常に重視	やや重視し	しなかった	全く重視し
2008	35	14.3%	34.3%	40.0%	11.4%
2013	34	17.6%	32.4%	32.4%	17.6%
2018	36	22.2%	27.8%	33.3%	16.7%

I. 将来性



卒業年度	件数	非常に重視	やや重視し	しなかった	全く重視し
2008	35	20.0%	31.4%	37.1%	11.4%
2013	34	17.6%	35.3%	35.3%	11.8%
2018	36	33.3%	33.3%	30.6%	2.8%
		,			•

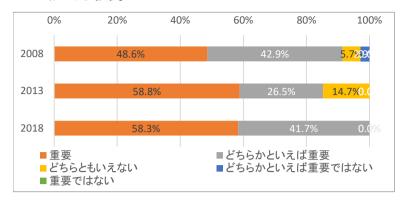
J. 専門分野とのつながり



卒業年度	件数	非常に重視	やや重視し	しなかった	全く重視し
2008	34	17.6%	8.8%	55.9%	17.6%
2013	34	20.6%	17.6%	41.2%	20.6%
2018	36	27.8%	16.7%	41.7%	13.9%

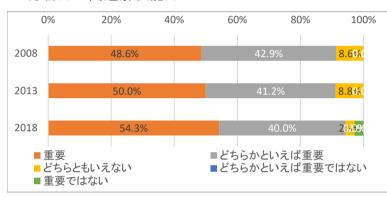
Q9. 大学卒業後のあなたの社会経験を踏まえて、以下の能力を大学生時代に身につける 重要性はどの程度あると考えますか。(大学IRコンソーシアム卒業生調査 設問[14])

A. 一般的な教養



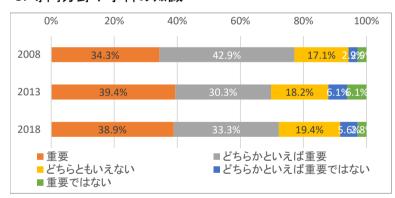
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	48.6%	42.9%	5.7%	2.9%	0.0%
2013	34	58.8%	26.5%	14.7%	0.0%	0.0%
2018	36	58.3%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%

B. 分析力や問題解決能力



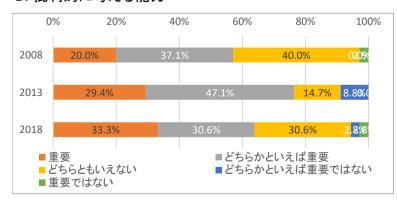
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	48.6%	42.9%	8.6%	0.0%	0.0%
2013	34	50.0%	41.2%	8.8%	0.0%	0.0%
2018	35	54.3%	40.0%	2.9%	0.0%	2.9%

C. 専門分野や学科の知識



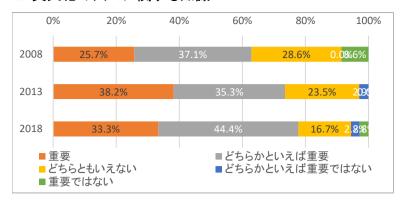
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	34.3%	42.9%	17.1%	2.9%	2.9%
2013	33	39.4%	30.3%	18.2%	6.1%	6.1%
2018	36	38.9%	33.3%	19.4%	5.6%	2.8%

D. 批判的に考える能力



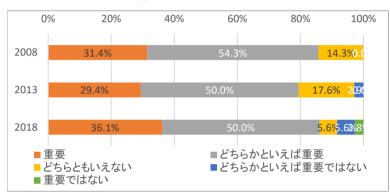
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	20.0%	37.1%	40.0%	0.0%	2.9%
2013	34	29.4%	47.1%	14.7%	8.8%	0.0%
2018	36	33.3%	30.6%	30.6%	2.8%	2.8%

E. 異文化の人々に関する知識



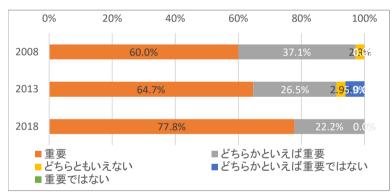
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	25.7%	37.1%	28.6%	0.0%	8.6%
2013	34	38.2%	35.3%	23.5%	2.9%	0.0%
2018	36	33.3%	44.4%	16.7%	2.8%	2.8%

F. リーダーシップの能力



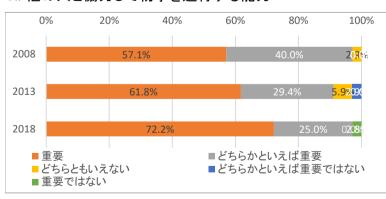
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	31.4%	54.3%	14.3%	0.0%	0.0%
2013	34	29.4%	50.0%	17.6%	2.9%	0.0%
2018	36	36.1%	50.0%	5.6%	5.6%	2.8%

G. 人間関係を構築する能力



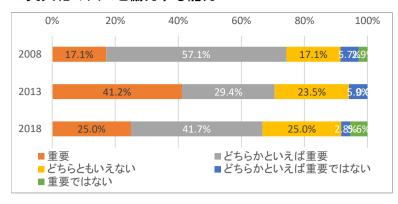
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	60.0%	37.1%	2.9%	0.0%	0.0%
2013	34	64.7%	26.5%	2.9%	5.9%	0.0%
2018	36	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%

H. 他の人と協力して物事を遂行する能力



卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	57.1%	40.0%	2.9%	0.0%	0.0%
2013	34	61.8%	29.4%	5.9%	2.9%	0.0%
2018	36	72.2%	25.0%	0.0%	0.0%	2.8%

I. 異文化の人々と協力する能力



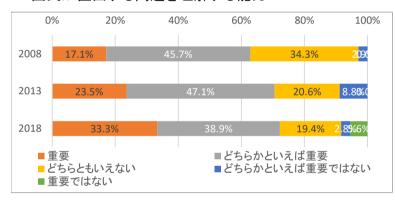
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	17.1%	57.1%	17.1%	5.7%	2.9%
2013	34	41.2%	29.4%	23.5%	5.9%	0.0%
2018	36	25.0%	41.7%	25.0%	2.8%	5.6%

J. 地域社会が直面する問題を理解する能力

0	%	20%	40%	60%	80%	100%			
2008	14.3%		48.6%		31.4%	2.2%9			
2013	23.59	%	47.1	1%	29.4%	5 0.0			
2018	30	.6%		11.7%	22.2%	2.8%9			
■重要 ■どちらともいえない ■重要ではない				■どちらかといえば重要■どちらかといえば重要ではない					

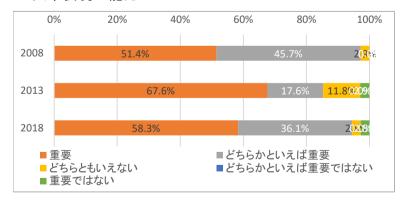
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	14.3%	48.6%	31.4%	2.9%	2.9%
2013	34	23.5%	47.1%	29.4%	0.0%	0.0%
2018	36	30.6%	41.7%	22.2%	2.8%	2.8%

K. 国民が直面する問題を理解する能力



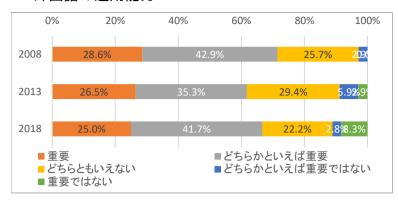
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	17.1%	45.7%	34.3%	2.9%	0.0%
2013	34	23.5%	47.1%	20.6%	8.8%	0.0%
2018	36	33.3%	38.9%	19.4%	2.8%	5.6%

L. 文章表現の能力



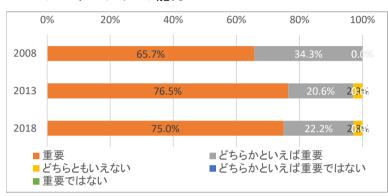
	卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
	2008	35	51.4%	45.7%	2.9%	0.0%	0.0%
I	2013	34	67.6%	17.6%	11.8%	0.0%	2.9%
I	2018	36	58.3%	36.1%	2.8%	0.0%	2.8%

M. 外国語の運用能力



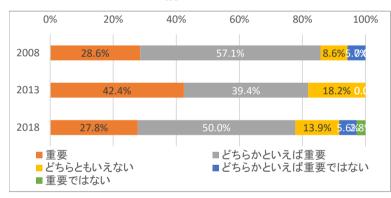
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	28.6%	42.9%	25.7%	2.9%	0.0%
2013	34	26.5%	35.3%	29.4%	5.9%	2.9%
2018	36	25.0%	41.7%	22.2%	2.8%	8.3%

N. コミュニケーションの能力



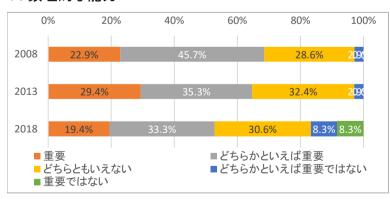
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	65.7%	34.3%	0.0%	0.0%	0.0%
2013	34	76.5%	20.6%	2.9%	0.0%	0.0%
2018	36	75.0%	22.2%	2.8%	0.0%	0.0%

O. プレゼンテーションの能力



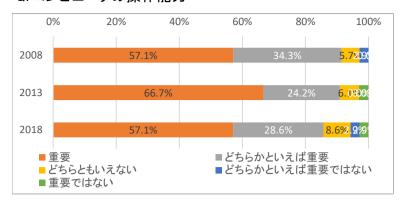
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	28.6%	57.1%	8.6%	5.7%	0.0%
2013	33	42.4%	39.4%	18.2%	0.0%	0.0%
2018	36	27.8%	50.0%	13.9%	5.6%	2.8%

P. 数理的な能力



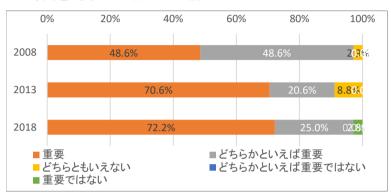
卒 業 年 <u></u> 度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	22.9%	45.7%	28.6%	2.9%	0.0%
2013	34	29.4%	35.3%	32.4%	2.9%	0.0%
2018	36	19.4%	33.3%	30.6%	8.3%	8.3%

Q. コンピュータの操作能力



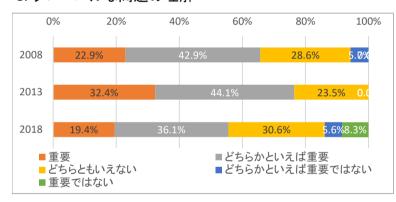
卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	57.1%	34.3%	5.7%	2.9%	0.0%
2013	33	66.7%	24.2%	6.1%	0.0%	3.0%
2018	35	57.1%	28.6%	8.6%	2.9%	2.9%

R. 時間を効果的に利用する能力



卒業年度	件数	重要	いえば重要	いえない	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	48.6%	48.6%	2.9%	0.0%	0.0%
2013	34	70.6%	20.6%	8.8%	0.0%	0.0%
2018	36	72.2%	25.0%	0.0%	0.0%	2.8%

S. グローバルな問題の理解



卒業年度	件数	重要	いえば重要	どちらとも	ではない いえば重要 どちらかと	重要ではな
2008	35	22.9%	42.9%	28.6%	5.7%	0.0%
2013	34	32.4%	44.1%	23.5%	0.0%	0.0%
2018	36	19.4%	36.1%	30.6%	5.6%	8.3%

Q10. 学生時代に経験したことで、社会人になって役に立ったと思うことは何ですか。 (複数回答可)

